



2020年4月8日

各 位

会社名 株式会社ビックカメラ
 代表者名 代表取締役社長 宮嶋 宏幸
 (コード番号: 3048 東証一部)
 問合せ先 取締役経営企画本部長 安部 徹
 TEL 03-3987-8785

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年10月10日に公表した2020年8月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2020年8月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年9月1日~2020年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 457,500	百万円 10,100	百万円 10,800	百万円 6,200	円 銭 35.24
今回修正予想(B)	436,500	7,660	9,090	4,850	27.57
増減額(B-A)	△21,000	△2,440	△1,710	△1,350	
増減率(%)	△4.6	△24.2	△15.8	△21.8	
(ご参考)前期実績 (2019年8月期第2四半期)	441,897	12,659	13,938	8,311	46.58

(2) 2020年8月期通期 連結業績予想数値の修正(2019年9月1日~2020年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 941,000	百万円 25,200	百万円 26,900	百万円 15,400	円 銭 87.53
今回修正予想(B)	841,000	3,500	6,500	1,800	10.23
増減額(B-A)	△100,000	△21,700	△20,400	△13,600	
増減率(%)	△10.6	△86.1	△75.8	△88.3	
(ご参考)前期実績 (2019年8月期通期)	894,021	22,943	25,871	14,047	79.09

2. 修正の理由

(1) 第2四半期累計期間

消費増税後の需要の反動減が長引く中、記録的暖冬が重なったことから販売が伸び悩みました。くわえて、新型コロナウイルスを要因とするインバウンドの急減、また公共交通機関を利用した外出を控える動きの影響を強く受けたことなどから、売上高は公表予想を下回りました。

利益面は、上記売上高ならびに販売量に応じたインセンティブの減少や商品ミックスの想定との乖離により粗利益率が伸び悩んだ個別業績の低迷を主な要因として、各利益は公表予想を下回りました。

(2) 通期

首都圏を中心に店舗展開する当社グループにおいては、新型コロナウイルスの影響により、営業時間の短縮や休館、またインバウンドの激減などにより実店舗の販売が大きく落ち込んでおり、下期において大きな回復は見込めないと想定し、売上高の公表予想を修正いたします。

利益面は、実店舗の売上高の減少にくわえ、サプライチェーンの懸念も残ることから商品供給に影響が出ることを想定し、更に保有する収益性の低い商品を目玉商材として投入することも計画に織り込んだことなどから粗利益率は低下するものと見込んでおります。これに対し、全ての費用項目において削減やコントロールをより強力に推進していくものの、粗利益減少の影響が大きく、各利益の公表予想を修正いたします。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

以 上